



コツコツ とことん

うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

大仙市立太田中学校
令和4年1月28日
NO. 114



前期選抜を終えて…自信が平常心を築く

昨日1月27日（木）、公立高校入学者前期選抜が行われ、全県で1412人が受検しました。各校で、募集倍率が違いますが、倍率が1.00倍を割っているからといって、受検した全員が合格できる訳ではありません。学力検査と面接を経て、提出資料を併せながら、その高校の合格基準を満たす生徒が募集定員内で合格となります。合格発表は、2月4日（金）、その後は3月8日（火）に行われる一般入試に向かいます。

3年生を見ていると、何ヶ月か前の余裕の表情や態度とは明らかに違い、自らを奮い立たせるかのような姿や緊張が増している表情がうかがえます。また、それらを押し隠して平静を装おうとする分かりやすい仕草も見受けられます。自信をもつことは大切ですし、平常心でいてほしいと思いますが、人生最初の試練にあって緊張しない方が無理なのかもしれません。

元プロ野球監督野村克也氏は、著書『野村四録 志の書 夢を叶える心得』の中で、**平常心は、自信によって築かれる**ものとして次のように述べています。

夢を実現するために、常に向上心をもち続けることは大切である。そして、向上心をもち続けるために必要なのが「平常心」である。「平常心」とは、**普段と変わらない心であり、何ごとにも動じない心。それは、日頃の鍛錬や努力、そして小さな成功の積み重ねから得られる自信によって築かれる。**

自信をもち平常心を築くには、やり切った、これ以上できないと思えるくらいの勉強を重ねる必要があります。これは自分ができる鍛錬・努力です。

一方、周りがしてあげられることは、腫れ物に触るように接するのではなく、普通通りの中でのさりげない励ましやアドバイス、気遣いを始め、心が軽くなる刺激を与えることが考えられます。

そこで、本校ではスクールカウンセラー濱田先生に、受検に向けての心のもち方などを含む講話会をお願いし、12月に実施しました。経験豊富な先生の話は、3年生の不安の軽減の手助けとなったものと思います。

自分の努力と心が和む講話が、自信となり、平常心につながってくれたらと思っています。

話は学力検査に戻りますが、前期選抜の学力検査の問題と解説・解答が新聞に載っていました。数学の問題を見てみると、3年生で勉強したことだけが出題されているわけではなく、問題の半分以上は1・2年生の範囲です。たぶん国語、英語もそうだと思いますし、3月に行われる一般選抜でも、例年1・2年生で勉強したことが多数出題されています。

「中学校3年生になったら受検生」ではなく、1年生からでも小学校からでも、受検を意識したらそれはもう受検生です。受検への意識を早くもち、早く取りかかることは、自信を生み、平常心を築くことにつながるようになるでしょう。『**受検勉強にフライングなし 受検勉強にスピード違反なし**』です。

高校進学や大学進学では、受検する本人はもちろんのこと、保護者も受検システムについて勉強しておかなければなりません。お子さんが、1・2年生であっても、今から関心をもって受検情報に目を向けていただきたいと思います。

**NO! 誹謗・中傷・人権侵害
MUST! 感染予防対策**

新型コロナウイルス感染症の流行が、全国的にも、ここ秋田県でも、大仙保健所管内でも拡大し、クラスターの発生など感染者が増加している状況です。それに伴い、当面部活動も2月6日（日）まで休止とし、メールでも発信しているところです。また、誤った情報や根拠のない憶測等によって風評被害や人権侵害も懸念されます。昨日1月27日（木）には感染防止対策についてのお願いの文章をお届けしましたし、誹謗・中傷・人権侵害の防止については以前にもお願いしたところでありましたが、改めてお願いいたします。さらに、自らが感染者とならないため、学校が感染源とならないため、受検等に臨む高校生や3年生に影響を及ぼさないため…その他のいろいろな状況・影響を鑑みて、可能な限り最大限の予防の徹底をすることを職員で確認し、学校で実施していますし、子どもたちにも繰り返し指導しているところです。どうか家庭でも感染予防対策への確認と最大限の予防の実践をお願いいたします。何よりも“安全第一・健康第一”の意識が大切だと思います。よろしくお願いいたします。